

九条の会

2005・11・16

第57号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

学習・話し合いの輪をさらに大きく

分野別の「会」が多彩な活動

宗教者の和 今年4月に発足した「宗教者九条の和」は11月5日、「第1回平和巡礼とシンポジウム in 東京」を実施しました。

「平和巡礼」では、聖イグナチオ教会から四谷地域を仏教、キリスト教など宗教の違いを超えて、約200人が行進しました。

「輝かせたい憲法第9条」をテーマにしたシンポジウムには約270人が参加。村中祐生・大正大学元学長が「宗教者と9条」と題して基調講演。山本俊正・日本キリスト教協議会総幹事のコーディネートで、石川浩徳・日蓮宗現代宗教研究所元所長、小林延行・中央学術研究所員（立正佼成会）高見三明・カトリック長崎教区大司教、が発言し、金光教の西村美智雄・専務理事がまとめの閉会あいさつをおこないました。

医療者の会 「九条の会・医療者の会」は11月12日、結成1周年を記念し「東京講演会」を開き、会場を埋めつくす500人余が参加しました。

会では、「医療者の会」よびかけ人の医師、鎌田實、肥田舜太郎両医師のほか、記録映画作家のジャン・ユンカーマン氏、奥平康

「九条の会 講演会」の予定

【熊本】 くまもと九条の会と共催

◇日時 11月22日 18:00~21:00

◇会場 県立劇場コンサートホール

◇講師 小田実、石坂啓(漫画家)、福島将美(元連合熊本会長)

◇参加費 1000円

【シンポジウム】 九条の会主催

◇日時 11月27日(日) 13:30~

◇会場 東商ホール(地下鉄日比谷)

◇あいさつ・報告 加藤周一、奥平康弘、山内敏弘(龍谷大学教授)

◇参加費 1000円

弘・東大名誉教授らがリレー・トーク方式で講演しました。また、この間結成された愛知、兵庫、岡山の「会」の代表とともに、群馬大学で「会」の結成に向けた取り組みをしている医学部の学生が発言し大きな拍手をあげました。会場では、この1年で賛同者が278人から2322人に増えたことも報告されました。

【詩人の輪】 『九条の会』アピールに賛同する詩人の輪」は11月6日、結成1周年を

記念して2回目の「輝け9条！詩人のつどい」を開きました。「つどい」では、八木幹夫、羽生康二、小森香子、甲田四郎の4氏のリレートーク、秋村宏、真田かずこ、八木忠栄の3氏の自作の詩の朗読、フロアからの発言のほか、器楽演奏もおこなわれ多彩に交流しました。

「草の根」広げる活動着実に

【東京・杉並】（9月22日の交流会の発言）

荻窪9条の会 お寺・教会などを回り86人の呼びかけで、5月発足。10人で構成する事務局の会議は毎月開き、例会での学習や戦争体験を語る会を開催している。

井の頭沿線9条の会・浜田山 井の頭線沿線の各駅に9条の会をつくるのが目標。毎月学習会や朗読会を開催し、参加者は結構多い。次回は自民党改憲案の学習会。

井の頭沿線9条の会・永福 40数人で発足。会費300円で、憲法を読む会や講演会を毎月開いている。ニュース6回発行。もっと広げなければと考えている。

【大分市・敷戸地域】 憲法改悪を阻むため何らかの運動を、と今年の6月25日、19名の賛同者を得て準備会をつくりました。その後ずいぶん時間が経過しましたが、コツコツと賛同者を広め、その数が100名を超えたのを機に、「九条の会」を発足させることになりました。今のところ世話人が5名で大変な面もありますが、正式な会の発足を機に賛同者と世話人を増やし、地域にあった活動を展開しようと考えています。

【札幌市・丘珠みなみ・伏古北地域】 呼びかけ人7人で、終戦60周年をむかえた8月、日本を「戦争する国」にしないために、私たちが住んでいるこの地域にも「九

高校新聞憲法論議盛ん

「西日本新聞」(11月4日)は、高校新聞で憲法改正や戦後60年をテーマにした好企画が増えていることを紹介し、「改憲の機運が高まる中で、自分の問題として向き合おうとする若者たちの思いが伝わってくる」と報じています。

○福岡県柳川市の杉森女子高校新聞部。10月号ではタブロイド版全6頁のうち2頁を見開きにして「平和について考える『戦後60年と私たち』」と題する特集記事を組んだ。目玉は、3年生約180人を対象に憲法問題への意識を採ったアンケート結果。約7割が憲法9条を「変えるべきでない」と回答し、自衛隊の海外派遣については「反対」が4割、「非軍事の支援なら良い」が3割を占めたことを紹介している。

○戦争体験の風化に警鐘をならす学校もある。佐賀商(佐賀市)は九月号で「語り継がれる想い」として、10代のころ学徒動員で長崎に派遣され被爆した同窓生の講演の詳細を掲載。

○竹田南高校(大分県竹田市)は7月号の1面トップで「今私たちのできること」とする記者の論評を掲載し、「戦争を過去の出来事と考えず自身の問題としてとらえなければならない」と訴えている。

条の会」結成を、とよびかけました。9月29日の第1回準備会までに、57名の方々からご返事をいただきました。準備会では呼びかけ人をさらに幅広くすることをきめ、総会を12月8日に行うことを決めました。